

「枠わくでっぱりなぞりシート」

こ ん な 子 ど も に	線なぞりをすると目で鉛筆の動きを追うことが難しくはみ出だしてしまう子ども。
前 提	鉛筆を持つことができる。書く事に興味がある。
ね ら い	枠を意識して線なぞりをする。 はみ出したら自ら気づき枠内に戻ることができる。
指 導 法 略	特性を踏まえた ① 1cm幅の枠をなぞるように促す。目で鉛筆の動きを追う力が弱いためにはみ出してしまうと2mmの厚みから落ちてしまい「カクツ」という感覚が手に伝わる。そのことで「はみ出たこと」への注意喚起となる。 ② よそ見をしていてはみ出た場合は視線が書いている手元に戻ってくるという効果が期待される。「よくみて」という声かけをしなくても児童の方から書いているところに視線が戻ってくる。
こ ん な 支 援 を	 <p data-bbox="687 1868 1442 2047">参考文献 長所活用型指導で子どもが変わる Part2 図書文化 特別支援教育 はじめのいっぽ！ 学研</p>